

### 第3回徳島市水道局庁舎整備検討会議 議事録

日時 平成31年4月23日（火）午前9時30分～午前11時00分  
場所 徳島市水道局本庁舎4階 第1会議室  
出席者 委員7人、徳島市4人、水道局5人、事務局5人、梓設計2人

#### 開会

#### 新聞報道に関する報告

#### 新任の局側出席者紹介

#### 事務局

会議次第の説明

#### 庁舎の規模及び立地場所について説明

資料1（1・2ページ）について水道局の説明 ー施設整備課長ー

#### 会長

前回の会議で提案した案が③として示されているがいかがか。

#### G 委員

用途地域の趣旨に沿わないと記載されているが。

⇒徳島市建築指導課の意見として記載した。協議した結果、敷地を分割して建築する案に全く問題は無いという回答は得られなかった。

#### G 委員

水道局を1つの場所で運営するためには、③案の方法でしか可能とならないため意見した。実際は水道局全体の機能性とか体制をよく考えて決定するべきと考えている。

#### C 委員

③案の防災拠点と工事費の評価について説明して欲しい。

⇒防災拠点の評価は、災害対策本部が徳島市役所に設置されることを考慮して、本部に近接している①、②案の評価を高くした。工事費は、建設する建物が複数になる③案を①案より低く評価している。

#### D 委員

地盤の液状化の可能性について説明して欲しい。

⇒建設候補地は全て、液状化の可能性は極めて高いと評価されている。

#### C 委員

ボーリング（地質調査）結果はあるか。

⇒水道局本庁舎用地については、市役所が建設された時の調査結果がある。その他の建設候補地は調査を実施していない。

## C 委員

各配置案について、利便性、工事費、工期、仮設庁舎の各項目に加重をつけて採点したほうが評価しやすいのではないかと。

⇒工事費、工期等は定量的な評価が可能な項目ではあるが、建物の規模・構造等を決定せずに数値を示すことは難しい。現時点では曖昧ではあるが定性的な評価で議論してほしい。

## B 委員

②案は、職員を100人と50人に分散して業務を行うことになるが、業務効率が悪いと思う。50人はどのような部門の職員を考えているのか。

⇒南前川の敷地に建設可能な庁舎(3,000㎡)を想定した場合であり、組織の構成については未定である。

## F 委員

①、②案の市民サービスに関する評価の比較について説明してほしい。幸町に市民サービスに関する部門を配置すればあまり変わらないのではないかと。

⇒ご指摘の通りである。

## F 委員

②案のように庁舎を分散化した場合、テレビ会議等を使用することで業務効率の低下を軽減させることが可能と考えているが、市民サービスの低下についてはどのように考えているのか。

⇒現庁舎に配置している全ての部署で来庁者は訪れている。出来る限り集約化した庁舎を建設することが市民サービスにつながると考えている。

## E 委員

②案の幸町で駐車場が十分確保できない評価となっているが、①案と同じ評価なのか。

⇒幸町の敷地面積は広くないため、延べ床面積が小さくなくても建物の建築面積は大きく変わらない。よって同じ評価としている。

## A 委員

徳島では車で来庁される方も多いため。南前川では、十分な駐車場を確保した庁舎を建設することが可能であり、市民サービスの点で有利であると考えられるがどうか。

⇒上下水道に関する申請や確認だけでなく建築確認や道路、排水施設等、徳島市が管理する様々な部門で協議することは非常に多くある、市役所に近い方が市民サービスとして有利と考えている。

## F 委員

現在、水道局には駐車場が無く市役所の駐車場を利用している。仮に現位置に建て替えたとしても、現状通り市役所の駐車場を利用することに問題はないのか。

⇒問題はない、現状通りと考えている。現位置で建設する場合は、身障者駐車場を数台確保する程度になる。

## D 委員

候補地は全て津波浸水想定がされている地域である。防潮対策を施した建物で被害を最小限にすること。もし被災することがあっても、別の場所で水道局の機能が発揮できるようなことも考えてほしい。この議論とは別であるが、BCP(事業継続計画)についても策定してほしい。

## B 委員

維持管理費等のライフサイクルコストは比較していないのか。  
⇒金額は算出していない。一般的に複数の建物になるほどコストは高くなる。

## 会長

検討会議での意見として、いずれかの案を提言したいと考えている。各委員の意見を伺いたい。

## C 委員

①案である。しかし、今後詳細な検討を重ねた時に③案のほうが良いと判断される可能性もあると考えている。

## F 委員

①案であるが、防災拠点として考えると、有事の際には南前川でも体制が整えられるような機能が付加できるよう考えて欲しい。

## 会長

幸町に大きな被害が発生した場合、おそらく南前川も同じようになるだろう。もう少し離れた場所で体制を整えたほうが良いかもしれない。

## G 委員

①案である。市民が利用する場合に一番便利である。市役所と連絡通路でつながればよりいっそう便利になる。これからの計画で考えてほしい。

## A 委員

市民サービスと防災拠点の項目を重視して①案に賛成する。

## B 委員

①案に賛成する。市役所から近いことでスムーズな手続きが可能であることや駅から近いといった市民サービスで優位であること、②案については庁舎が分散されることによりサービスが低下する可能性があること、③案については用途地域の問題や建築審査会での手続きで工程が不透明であること、この3点を総合評価した結果である。

## E 委員

①案である。③案については用途地域の趣旨に添わないと判断されたことに問題があると感じている。資料で工事費等の各項目の評価は、若干疑問が残るところはある。

## 会長

検討会議での意見として、新庁舎の配置方式は①案で提言する。

## C 委員

他都市の水道局庁舎の面積と比べると、計画されている1人当たり25㎡より大きくする必要があると感じるがいかがか。

⇒防災機能を確保するために会議室等を広くしている事例が多い。

## F 委員

防災拠点としての機能を考えれば面積は必要と感じている。他都市と比較してもずいぶん小さいがどのように考えているのか。

⇒岡山市水道局には、災害時には対策本部となる機能を有した会議室や、他都市から支援に来た職員を受け入れるスペースも確保している。小さい建物であると建設費は安くできるが、危機管理の対応を整えるほど大きな建物となり費用は高くなる。そこについての議論をお願いしたい。

## F 委員

①案で建築した場合、さらに防災機能を付加するために延べ床面積を大きくすることは可能なのか。容積率に余剰はあるのか。

⇒建物を高くすることで延べ床面積を大きくすることは可能であり、容積率にも余裕はある。

## C 委員

災害が起こりライフラインを早く復旧するための機能は当然準備して欲しいが、その機能や面積を具体的に示して危機管理体制を整えて欲しい。

## 会長

庁舎の規模は水道局で精査してほしい。

## 事業所手法及び事業スケジュールについて説明

資料1（3ページ）について水道局の説明 ー施設整備課長ー

## 会長

3案提案しているが、水道局としての方向性や考えを伺いたい。

⇒公営企業であり、企業債等の有利な条件での資金調達が可能である。よって民間資金を活用するPFI方式については考えていない。残る2案で、建設費用・工期等で最も有利な方法を選択したい。

## F 委員

建物のライフサイクルコストを重視してほしい。発注仕様書やプロポーザルの選考基準等に記載することで実現出来ると考えている。

## G 委員

個人的な意見ではあるが、設計と施工を一括発注すると企業の利益が優先されやすいのではないかと。役所の建物の場合は、従来方式が良いと考えている。

## C 委員

事例を紹介してほしい。

⇒最近では、徳島県が発注した徳島中央警察署はPFI方式で建設中である。水道局および下水道事務所は、デザインビルド方式（以下、DB方式と記載）での発注実績はない。

## C 委員

設計と施工を分離発注したほうが、品質は確保しやすい。一方、DB方式では受注した者の技術

力が高ければ、従来方式に比べ良い建物を造ることが出来ると理解している。一長一短あるが、品質管理を重視して従来方式が良いと考えている。

#### F 委員

P F I 方式は専門的知識が必要になり、参入業者も限られる。D B 方式でも発注規模は大きくなり地元業者の参入は難しいのではないかと。地元業者の育成、発注者側の要望や監理、これらを適切に反映できるのは従来方式ではないかと。

#### B 委員

P F I 方式は、維持管理や事業の運営まで行うことで効果が得られると理解している。水道局庁舎では効果が期待できない。従来方式かD B 方式が適していると考えている。

#### A 委員

P F I 方式には、S P C（特別目的会社）等を管理監督する部門が必要となると思うが、そのような部署は存在するのか。

⇒徳島市立高校をP F I 方式で建設した時には、公共建築課・教育委員会が管理監督を担当した。徳島市でのP F I 方式の事例はこの1件しかない。

#### B 委員

設計が完了した時点で、図面等を精査する建築担当職員は水道局に居るのか。

⇒水道局には建築の専門職員が居ないため、市庁部局から支援してもらおうと考えている。施工管理については外部の専門家に依頼する予定。

#### F 委員

従来方式の場合、基本設計・実施設計・施工管理は分離発注なのか。

⇒徳島市の場合、分離発注することが多い。

#### G 委員

従来方式とD B 方式の工期は、ほとんど変わらないと思う。D B 方式は建物の品質を確保するためのチェックが重要だ。品質の確保、建設費等、総合的に判断すると従来方式が無難ではないかと。

#### 会長

検討会議の意見としては従来方式とする。

#### 徳島市水道局庁舎整備基本計画書（案）について

資料2について水道局の説明 ー施設整備課長ー

#### C 委員

7ページ（1）防災機能に記載されている非常用発電機は、津波浸水を考慮した場所に設置するのか。

⇒津波での浸水を想定し、発電機は階高の高い場所に設置したいと考えている。また、仮に①案で建設した場合は津波浸水深さが1～2 mであるため、それを前提とした建物として建設する。

#### C 委員

災害が起きた場合に、水道局としてライフラインを復旧するための備蓄品についてはどのように考えているか。

⇒非常用の水、食料、給水袋等、災害が発生した直後に使用する物を中心に保管することを考えている。

#### E 委員

8 ページ (3) ③トイレで、パウダースペースの設置が記載されているが、県・市等の公的機関での設置例は少ないと思うがいかがか。

#### G 委員

最近の新しい建物には設置されている。庁舎を利用する人数に合わせた規模で考えれば良いと思う。

⇒時代が要請する建築設備については、過度にならないよう精査したい。

#### B 委員

庁舎整備基本計画書 (案) について、誤記の訂正と表現について意見したい。1 ページ前川分庁舎 (旧館) の建設年は昭和42年、(新館) の構造は鉄骨造り。4 ページ図-1 の「環境にやさしい庁舎」の色は緑色が適切。7 ページの写真の位置が悪く文字と重なっている。

⇒訂正する。

#### C 委員

10 ページ (6) ②情報管理機能について、発注者との協議で受注者が執務室内に入ってきて秘匿すべき情報が漏えいする危険性がある。レイアウトについてはよく考えて欲しい。

⇒個人情報扱う部署には高いセキュリティーを考えている。執務室については市役所と同様のレイアウトを考えているが、意見として参考にした。

#### F 委員

庁舎整備基本計画書 (案) は、ホームページ等に公開し意見公募をするのか

⇒パブリックコメントについては、今のところ考えていない。

#### F 委員

会議の論点からは外れるが、防災機能を考えると徳島市役所との連携は非常に大切と考えている。新しく建設する水道局庁舎に災害対策本部機能を確保する等の具体的な連携案ができることを望んでいる。

#### D 委員

災害時のBCP (事業継続計画) の策定をしてから、それに必要な庁舎の構造や機能を考えて欲しい。

#### E 委員

元号表記の部分を西暦表記にすることは考えていないのか。

⇒元号の後ろにカッコ書きで西暦を表記したい。

#### 会長

以上の意見を参考に庁舎整備基本計画書（案）の作成をお願いしたい。

## 事務局

### 【第4回の開催について】

開催：令和元年5月14日(火) 14:00から開催予定

内容：庁舎整備基本計画書（案）について

資料：作成でき次第、委員に事前に配布。

## 閉会